

福島第二原子力発電所構外の進入路における火災に関する原因と対策について

平成 26 年 10 月 9 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

1. 発生状況

平成 26 年 1 月 29 日午前 6 時 50 分頃、福島第二原子力発電所構外進入路の金山跨線橋において、橋脚に巻いてある電熱シートから煙および火らしきものが発生していることを通勤途中の当社社員が発見しました。

その後、現場を確認したところ、焦げ痕は確認しましたが、煙および火らしきものは確認できませんでした。

これを受け、午前 7 時 25 分、消防署に連絡しました。

消防署による確認において、午前 8 時 30 分に火災と判断しました。

その後、午前 9 時 40 分、当社は、午前 7 時 59 分に消防署により鎮火確認がなされたことを確認しました。

(平成 26 年 1 月 29 日お知らせ済み)

これまで、福島第二原子力発電所構外進入路の金山跨線橋において、火災が発生した原因等について調査してまいりましたが、以下のとおり、とりまとまりましたのでお知らせします。

2. 調査結果および原因

調査の結果、今回の工事において、電熱シートの使用にあたっては、風雨を防ぐため養生シート（防炎、難燃仕様）で覆っていましたが、火災発生時は、当該電熱シート全体（連結用ケーブル含む）について一部養生シートで覆われていない露出部分があり、その露出部分が強風に捲かれた際に当該電熱シート連結用ケーブルが半断線状態となり、その部分が発熱し電線の被覆が熔融し、その後、短絡し出火に至ったものであると推定しました（添付資料参照）。

また、当該電熱シートについては、現場納入時や施工期間中にわたり不良箇所チェックを行わずに使用していたため、キズ等の見落としがあり火災発生につながった可能性もあると考えております。

3. 対策

本件を受け、風による影響を受けないよう、電熱シートを使用する際は、電熱シート全体（連結用ケーブル含む）を養生シートで確実に覆うこととします（添付資料参照）。

また、新たに電熱シートのチェックシートを作成し、電熱シートの納入前においては製品仕様書をもとに、現場納入時、転用時および使用中には現品について、チェックシートを用いて不良箇所等がないか確認を行うこととします。

以 上

（お問い合わせ先）

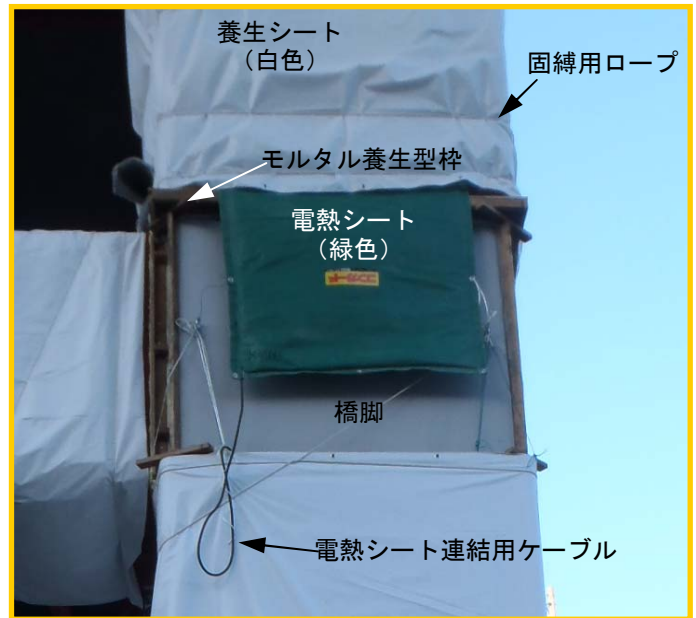
福島第二原子力発電所広報部

電話：0240-25-4111（代表）

○火災発生当時の状況



発生当時の養生状態



電熱シート露出部 (拡大)

○出火原因と今後の対策 (概要図)

